

当院の下剤内服への取り組み
ーペットボトルを使用してー

医療法人 康陽会 花牟禮病院
看護師 ○味園 恵美子 田畑 留美
内視鏡技師 有村 彰洋 橋口 和明
医師 花牟禮 康生 本田 昭彦 鉾之原 英

【はじめに】

全大腸内視鏡検査（以下 TCS）は、正確な診断と治療の為に、検査前日及び当日に腸管洗浄を行うが、被検者にとっては負担と苦痛を有することもある。当院では、医師の指示の下、腸管洗浄の飲用方法説明を内視鏡技師が行うが、説明通りの飲用がうまくいかず、検査時の残便等の原因になり得ることも考えられる。当院では今回、モビプレップペットボトル法（以下 MP 法）を利用し、被検者へ説明の簡易化且つ正確な下剤説明ができ、受容性も良く、洗浄度も良好な成績を得たので報告する。

【期間】

平成 25 年 9 月～平成 25 年 12 月の 4 ヶ月間

【対象】

当院で TCS 目的の被検者で MP 法を選択され、アンケート回答及び発表同意を得た被検者 236 名。アンケート内容は、MP 法の説明方法、飲用時間、味等を含む MP 法の受容性と、洗浄度の評価は検査医と内視鏡技師の目視により施行した。

【方法】

飲用方法については、モビプレップ®を 20 で溶解し 10 を空ペットボトルに入れ、次に、残りの半分の 500ml を空ペットボトルに入れ、消泡剤を 20ml 追加する。尚、モビプレップ®は高張液の為、十分な水分摂取が必要である。

飲用順番及び時間は、ボトル①10MP を 1 時間以内の飲用、その後、ボトル②市販の 500ml の水又はお茶を 1 時間以内の飲用、ボトル③消泡剤入り 500mlMP を 30 分以内の飲用とした。ボトル③を飲用後は脱水予防等の為に水分摂取を強く促す。また、検査前日の検査食及び下剤は使用しない。

アンケート内容については MP 法説明時理解度を（わからない・普通・わかった）の 3 段階に評価し、飲用時間は（短い・普通・ちょうど良い）、味については（飲みにくい・普通・飲みやすい）、受容性は（他の下剤がいい・どれも同じ・今回の下剤を希望）の 3 段階に評価した。腸管洗浄度については 5 段階評価（検査不可能・検査に支障をきたす・残差が存在するが検査に支障はない・残差が殆どない・残差が全くない）とした。

【結果・考察】

モビプレップ®を MP 法に改良し、飲用順番の番号を添付し説明することにより、説明者が被検者に対する下剤説明が簡易化且つ正確になり被検者の下剤説明理解の受容性が高くなった。

以前の下剤飲用より、MP 飲用途中で市販の水又はお茶を飲用することにより、下剤だけを飲み続けるという、被検者の苦痛緩和を少しでも改善できた。

腸管洗浄も大腸憩室等が原因による残便は多少あったものの、検査医も MP 法の受容性が高かった。今後も安全安楽な前処置ができるよう工夫していきたい。